

小学校統合準備委員会に関する説明会 次第

令和3年8月26日（木） 午後7時30分
宝達志水町生涯学習センター2階 視聴覚室

1 開 会

2 教育長あいさつ

3 内 容

- (1) 保護者説明会の会議録の報告について
- (2) 小学校統合準備委員会の設置概要について
- (3) その他

4 閉 会

令和3年度宝達志水町小学校統合準備委員会名簿（案）

役 職	氏 名	備 考
見識者	勝 二 信 隆	
押水第一小学校PTA会長	北 本 優 平	
押水第一小学校PTA副会長	勝 二 俊 祐	
押水第一小学校PTA母親代表	酒 井 瞳	
宝達小学校PTA会長	田 中 慎	
宝達小学校PTA副会長	越 野 奈 美	
宝達小学校PTA母親代表	川 崎 陽 子	
相見小学校PTA会長	近 岡 宏 介	
相見小学校PTA副会長	粟 原 大 典	
相見小学校PTA母親代表	定 免 綾 香	
樋川小学校PTA会長	岡 田 舞	
樋川小学校PTA副会長	中 村 喜 枝	
樋川小学校PTA母親代表	佐 野 美 和	
志雄小学校PTA会長	土 一 薫 義	
志雄小学校PTA副会長	谷 口 敦 子	
志雄小学校PTA母親代表	田 上 麻希子	
北大海第一保育所保護者会会長	中 島 香	
相見保育所保護者会会長	大 窪 唯	
南部保育所保護者会会長	木 村 亮 介	
中央保育所保護者会会長	百 万 友 貴	
押水第一小学校校長	松 本 猛	
押水第一小学校教頭	村 田 真紀子	
宝達小学校校長	金 谷 外志弘	
宝達小学校教頭	萩 めぐみ	
相見小学校校長	清 水 ひとみ	
相見小学校教頭	久 保 敦 子	
樋川小学校校長	岩 網 清 美	
樋川小学校教頭	北 豊	
志雄小学校校長	坂 井 雪 絵	
志雄小学校教頭	寺 口 茂 美	

会議録（押水第一小学校質疑）

会 議 名	小学校統合説明会
日 時	令和3年7月27日（火） 午後7時30分 ～ 午後8時20分
会 場	押水第一小学校ランチルーム
出 席 者	町 長： 寛達町長、細江教育長、笠松学校教育課長、秋田課長補佐、 松原主幹、中橋主幹 保護者：25人
次 第	<ul style="list-style-type: none"> ・ 開会 ・ 町長挨拶 ・ 統合に関する説明 ・ 質疑 ・ 教育長挨拶 ・ 閉会
質 疑	<p>●質問</p> <p>個人的には統合には反対ですが、決まったことをここで反対と言っても覆ることはないのですよね、町長。</p> <p>説明を聞いて、統合してからのメリットがそこまで感じられないというか、指導の個別化・個性化は、統合しなくてもできる事だし、学び合うといっても1人、2人の学校ではないから、学び合うことは出来ると思います。なので、もうちょっと具体的にというか、事務作業的で納得がいけないところがあるのですが、本当にこれが子どもたちにとって良いのか、という判断のために、納得のいく説明をして欲しいなというところです。</p> <p>○回答（教育長）</p> <p>子どもたちにとって、これから大事になって来るのは、やはり多様な価値観に触れて、議論して、新しい価値観にしていくということが大事だと思います。</p> <p>今、ご質問があったのは、第一小学校はそれほど急がなくても良いのではないかということと、あとは、オンラインでもやれるのではということも含まれているのではないかと思います。先ほどお話ししたように、オンラインは良さもありますが、デメリットがあります。テレビの世界で交流していく、小学校においては出来るだけ仲間と直接触れ合うことが大事かと思えます。それと、多様な価値観の方と議論をすること、そういう場がだんだん失われていくことが第一小学校ではみられます。</p> <p>2枚目の資料でもあったように、これから先、増える見込みが無いとすれば、そういう学ぶ機会が、この地区だからこそ失われる。例えばですが、金沢だったら、そういうチャンスは子どもたちにいっぱいありますけれども、</p>

宝達志水町に住んでいると協働学習が薄れると。そういった地区にはしたくないという思いです。

●質問

大海小学校のPTAと話したが、統合については、かほく市では絶対にしないと、そうなっていると。大海小学校は、かほく市で一番少ないのかな。

○回答（教育長）

金津小学校の方が小さいかもしれません。

●質問

でも、そういう話は全くでないと、何故かと言ったら地域で愛し合って、そこに小学校があるからいいと思っていると。決まったこと言っても駄目なのだけれども、そういう所もあるので、もう少し、他にも目を向けて、もうちょっと考えて欲しいなと思っています。

○回答（教育長）

私も以前、金津小学校に勤めており、あの地区も児童数が100人を切ったりして、ところが、その数がずっと維持できる環境で、そんなに大きくは減っていかないと聞いております。

●質問

そんなことはないのでは。

○回答（教育長）

令和何年度に複式が入る。向こうではそんな減り方はしていないと聞いています。実際に、私もそこへ勤めており、そういう話も出ていたのですが、学びについては維持できるという判断でした。

説明が足りないかもしれませんが、具体的な資料が手元にないので。

●質問

統合した時に、この小学校はどうなるのでしょうか。

○回答（町長）

校舎などの建物については、避難所の機能もあります。防災の観点からも体育館であったり、ランチルームもきれいですし、使えるものは元の機能であったり、校舎も含めて地域の皆さまのシンボルとしての第一小学校が、皆さんに親しまれる中で残っていくことが可能であれば、そのような何らかの形で、これから先、具体的なことは考えていくのですけれども、残していければ、やっていきたいとも思っています。

一方で、設備等も大分傷んだりとか、そんな事情もありますので、利用できる建物かどうか、設備かどうか、そんなこともよく考えて、進めていきたいと思っておりますし、また、地域の皆さんには、今後進めて行く際には、丁寧にご説明したい。ご意見を伺ったりしながら、進めていきたいと考えております。

●質問

統合して38人とかになるが、2クラスになる人数はどうなっているのですか。

○回答（学校教育課長）

現段階では、1年生が35人、2年生からは40人学級になっていますが、文科省の方も、段階的に1年ずつ、2年、3年、4年生と35人学級にしていき、7年度には6年生まで35人学級。すなわち、36人になったその学年は2クラスになることになり。ただ、6年生は、7年度にならないとしないので、来年36人であっても6年生は1クラスになります。

段階的に2年生から36人を超えたら2クラスという流れです。

○回答（教育長）

学級の規模について付け加えて、今ほど文科省の規定とありましたけれども、それプラス石川県が独自に学級の定数を決めています。それが、4年生まではどちらかを選択できます。35人学級にするか、加配の先生を1人いただくか、そういう選択をしています。多くの学校は35人学級を要望しています。それから中学1年生もどちらを選ぶか選択できるようになっています。

今ほど話があったように、令和7年度には、文科省の言っているのは全部35人学級にしていくと聞いています。

●質問

令和7年度の6年生は38人になっていますが、これは2クラスになるのでしょうか。

○回答（学校教育課長）

2クラスになる予定です。

●質問

やっと小学校の合併が、うちの町でも動き出したのかなという感じでみえています。以前、一旦合併がストップして、町長が当選されて一番当初の予定よりはちょっと足踏みした感じはあるのですが、その時に町長に質問した時には、少人数クラスの方が子どもたち1人1人を先生がきめ細かく見られ

て、目が届くと。私の両親が学校の先生で、複式学級は大反対という意見を聞いていたのですけれども、何を聞きたいかと言うと、2クラスになるというのが1つ。それと、1クラスの数も増えてくるので、増えるメリットを最大限に活かしていただきたいし、一方で、今、1人の先生が見る人数が少なく済んでいるので、人数が少ないメリットもあると思っています。今月、学校の先生に意見をあげたら、即日動いてくれたという事案があり、そこは大変感謝しているのですけれども、こういうことが小学校で出来るのかは分かりませんが、例えば人数が増えたことによって、副担を置くとか、今までのメリットも活かしつつ、多人数のメリットも活かしていただきたいと思います。

○回答（教育長）

統廃合をして、子どもたちにとって、より丁寧な指導が出来なくなったら、それは統廃合をした意味がなくなりますので、できる限り手立てをしていきたい。ただ、例えば複式が入って来ますと、単純にいうと教員2人引き上げとかがおきる可能性もあります。1人ではなくて、2人引き上げとか、色々な条件があります。

本町では統廃合をした時に、人数が増えた分は加配の要求も出来るようになってきますので、出来るだけそういうことの無いように、子どもたちに今まで以上に手厚い指導が出来るようにしていかなければいけないと思っています。

そのために、統廃合が3年8ヶ月後となった時に、それ以前から各校の交流を増やして行く。明日から突然新しい学校へ行きますではなくて、その前に、この地区では3校の交流、同じ学年の交流とか、オンラインもコロナの関係で、そういうICT環境は整備されておりますので、そういったことも考えて、子どもたちの心のケアも考えながら進めて行きたいと思っていますところでは。

●質問

教育長から、統廃合された学校の話がありましたが、どうしても相見小学校へ行くと、変わると、説明はされたが、どうしても他の学校へ行くだけになる。一番簡単なのは、新しく学校を建てれば、みんな素直に新しい学校へ行くとということになると思いますが、新しい学校を建てるという考えはありませんか。

○回答（教育長）

色々な検討をさせていただきました。今ある小学校を5校とも残す、3校にする、2校にする、あるいは全く関係なく1校にするということも考えましたが、まず、1校にした場合、子どもたちの通学時間について課題が出てきます。それから、どこの場所に建てるかの課題もあります。今の現状より

もさらに統廃合のスタートが遅れます。すると、宝達小学校はこのままでいくと来年度から複式が入ってきます。そういう状態の学校が増えてくる恐れがあります。

なかなか地域の学校になり難いというご心配は分かります。そういう話をよく聞きますけれども、新しい地域の学校として、みんなで環境整備をできないかと考えております。例えば、志雄小学校は随分前に5校を1校にした学校です。その時は、やはり統廃合をしたら自分たちの学校ではないという話も、年配の方からはお聞きしましたが、子どもたちは非常に馴染むのが早くて、今はもう志雄小学校という地域で動いております。それには、どれくらいかかったかは分かりませんが、そういうことを考えながら、ここが無くなった。というのではなくて、同じ地域の学校として成立するように、何とか私たち大人が力を合わせながら、知恵を出しながらいけたらいいなと思っています。

●質問

要望になりますが、通学の件で、バス通学になるかと思いますが、私は、小さい子は歩いたり、多少の雨風は傘を差して行く、そういうことが大事だと思います。家のすぐ近くから車で往復するというのは、一番元気な時ですから、多少歩いたり、走ったりすることが大事だと思います。

それで、どこから乗ることになるのかは分からないのですが、多少、子どもたちは歩かせるような、例えばこの学校へ一旦集まってバスで乗って行くとか、家の近くから車で往復っていうのもちょっと、歩かせて運動ということも考えてもらえたらと思います。

○回答（教育長）

私どもとしても、小学校というのは、出来れば歩いて通学出来る距離が最善だと思います。しかし、中々それが色々な条件で難しいので、私も今お話があったように、子どもたちは出来るだけ歩く。そしてそこからバスに乗って移動するということを考えています。それが、どんな形になるのかは各部会で詰めていくと、地域のことを分かっているのは、皆さんが一番分かっているでしょうから、バスの所まで集まって、それから乗って行くと、出来るだけ歩く距離を伸ばしていただければ有り難いです。ここから相見まで歩くとなると結構ありますし、安全性もあるので、その辺は皆さんと共に検討していければと思っています。

●質問

お願いします。中学校に続いて小学校、自分の母校が無くなるのは凄くさみしいです。ただ、数字を見てみると、学び合いというところで、数字的に厳しいところがあるのかと、バスケットをしたり、サッカーをしたりという時に人数が足りないなと思って見えています。

ですので、動き出したからには、教育長の話にあった、統合して良かったと言えるように進めていただけたらと思います。近隣の統合の状況から、色々な情報を集めていただいて、宝達中学校が統合する時は、交流もされていたし、非常に統合がスムーズにいったように感じています。小学校の統合でも、色々な情報を集めてもらって、より良い統合に進めて行っていたらと思います。お願いします。

○回答（教育長）

今、話がありましたように、統合して子どもたちにとって良かったなということを、皆さんと共にアイデア、知恵を出し合っていかなければならないと思っています。ただ、減ったから統合ということではなく、子どもたちの学びを考えた統合を準備していきたいと考えています。

○（学校教育課長）

他会場で、制服についての質問がありました。

制服については、準備委員会で決定しましたら、その段階で、新たに入学されるお子さんは新しい制服となります。今まで使っている制服は、すぐに換えるというのではなくてそのまま使っていて、買い換えの時に新しくしていただければということです。ですから統合になった時には、3校あるので3種類、または新しい制服の4種類の制服が混ざった状態で何年間かは学習が進められるという案もあります。

○（教育長）

まだまだ質問等はあるのかと思いますが、町のホームページに統廃合のページを作ってありますので、そこへご意見をいただければ返信をさせていただくとか、返信は要らないから意見だけということも出来るので、そこへ入力していただければと思います。

質疑応答終了

会議録（宝達小学校質疑）

会議名	小学校統合説明会
日時	令和3年7月21日（水） 午後7時30分～午後8時50分
会場	町民センターアステラス 研修室
出席者	町長：寶達町長、細江教育長、笠松学校教育課長、秋田課長補佐、松原主幹、中橋主幹 保護者：31人
次第	<ul style="list-style-type: none"> ・ 開会 ・ 町長挨拶 ・ 統合に関する説明 ・ 質疑 ・ 教育長挨拶 ・ 閉会
質疑	<p>●質問 そもそもこの話は決定事項ですか。それともこういう方針で進めたいという方針の説明会ですか。</p> <p>○回答（町長） これでやっていきたいということでお示ししています。</p> <p>●質問 ということは、決定ではないということですか。</p> <p>○回答（町長） 我々の方針としては決定しています。</p> <p>●質問 ということは、予算が通らなければ、令和3年10月の基本設計とかも無くなるということですか。</p> <p>○回答（町長） そうです。 9月の議会に基本設計の予算を出し、ご理解いただけるようにしっかりと説明して進めていきたいと考えています。</p> <p>●質問 各小学校が合併しますが、保育所は一緒に小学校で離れて、ということも</p>

あると思いますが、自由に選択できるのでしょうか。

例えば、今、相見保育所に通っていて、校下は宝達という場合、離れたくない場合は、相見小学校に行くことはできるのですか。

○回答（教育長）

宝達小学校へ上がるお子さんが相見小学校に行くと、宝達小学校がどんどん減って複式が進み、より小集団になっていきます。そうした時に宝達小学校に通うお子さんが、学びの不利な点が出てくるということで、原則、宝達小学校へ行っていたきたい。

●質問

押水地区が相見小学校、志雄地区が志雄小学校になった経緯を教えてください。

○回答（教育長）

志雄地区では、志雄小学校は3学級対応の学校で、統合した時に部屋数を十分とれます。また、樋川小学校は令和10年には複式が迫って来ています。

押水地区では、相見小学校も、統廃合した時に学級数がそれに対応する仕様になっていますので、他の学校へ集めて部屋数を新築するよりも、今ある学校を改修して、第一小、宝達小の子どもたちを集めることを考えています。

●質問

相見小学校の場所だと、津波とかの災害はどうなるのでしょうか。

○回答（町長）

津波の想定が出されており、町内では考えられる大きな津波であっても里山海道までしか来ないという推計が出ています。

絶対大丈夫ではないかもしれないし、海には近くなりますが、そういったことを想定した訓練はしなければならないし、校舎の上の方に行くとか、高いところに逃げるとか、そういったことはしなければと思っています。

●質問

無くなった小学校や保育所は、子どもたちのために使うことは出来ないのですか。今も宝達保育所は何もしていない状態で、例えば公園を作るとか子どもたちのためになることは何も考えてないのですか。

○回答（町長）

子どもたちのためにといいことも考えていますし、校舎を活用して取り組んでいけないかということも、今考えているところなので、また、皆さま方にお示ししたいと考えています。

●質問

校舎の活用について、同じようなことを宝達保育所の統合の際も言っていたが、未だに何も活用されていません。今の町長の発言に、どれくらい信憑性があるのでしょうか。

○回答（町長）

宝達保育所については、老朽化も進んでいるので、解体を進めていこうと考えています。

小学校についても、建物も古いということで、使っていけるかどうかということ調べてうえて、子どもたちのためであったり、地域の皆さんのために有効に使えるように、そんな施設に出来ればと考えています。これは、信用いただいて結構です。

●質問

解体後の保育所の跡地は何をするのか。

○回答（町長）

住宅地であったりとか、民間の方に活用していただけるように進めていきたいと考えています。宅地に限らず、有効に使えるように進めていきたいと考えています。

●質問

小学校も、保育所も近くにない所に宅地を作って、そこに誰が住むのか。

○回答（町長）

土地を求めた方がどのように使われるか、その前に目的があるのでしょうか、宅地でなく、その他に使うことがあれば、お求めになる方もいると、全然使い勝手が悪い場所ではないと思っています。

●質問

そういうところを含めての統廃合の検討なのではないかと思うのですが、結局、そこだけふわっとした感じで、統廃合ありきで進めているように思うのですがいかがでしょうか。

○回答（町長）

今は、統廃合ありきということで進めています。子どもたちのために、学ぶ良い環境を作っていかなければならないと思っており、統廃合は進めていきたい。その上で、学校については校舎をどう活用していくか、よく考えてやっていきたいと思っています。

●質問

2校に統合するということですが、資料をみると令和に入ってからもの凄く子どもの数が減っています。1校に統合とか、小中一貫校の検討はしたのですか。

○回答（教育長）

1校にすると、更に統廃合が遅れます。というのは、まず、どこに建てるかという土地の問題、それから、残念ながら未だに志雄地区、押水地区のどちらに建てるかといったときに、例えば志雄地区に建てるとなった時に、押水地区からはそれは駄目だというご意見もいただいています。反対に押水地区に建てるとした時には、志雄地区からも反対の意見があって難しい。そういったことを詰めていかなければいけないのですが、そうした時に子ども達が少なくなっていく学校では、学びの機会が失われていく、そのため、まずは出来るところから進めようと考えています。

それから、小中一貫校について、今だと宝達中学校の側に建てるということになり、それもなかなかかなわない部分もあります。また、特認校とか特例校とかも調査しましたが、難しいところがあります。

●質問

保育所が統合して宝達保育所が無くなり、相見保育所に通っています。今の2年生は相見保育所に行って新しい友達に混ざり、小学校は宝達小、そしてまた、6年生になったら新体制の小学校になる。行ったり来たり。

今の年少さんも、1年間は分かれて、1年後にまた会ったねって。宝達保育所の時も交流会とか、子ども達のケアみたいなことをしてもらいましたが、子ども達への対応はどのように考えていますか。

○回答（教育長）

子ども達が、統廃合の関係で行ったり来たりということ、私が就任してから調べさせてもらいました。そういったことが無いように、出来るだけ早く相見小に統廃合した方が良いという結論で、今に至っています。

そのために、先ほども話のあった、本当は相見小学校に行きたいのだけれども、宝達小学校の校区を特認校としたときに宝達小学校の方々がどんどん減ってくることが予想されます。

そういったことがないように、一刻も早く相見小学校へ統廃合を進めていきたい。その間の子どもの対応については、難しい対応を検討しなければならないと思っています。

●質問

一刻も早く。といったら、子どもたちの気持ちが追いつかないと思います。

大人の事情で、子どもを巻き込んでいるのではないですか。

○回答（教育長）

待てば待つほど、子どもたちにそういう不利益がおよびます。そういったことがないように、学びの保障を、安定した保障が出来るようにしていきたいと考えています。

●質問

だったら、もう少し詳細を詰めてから説明会を開いたらどうですか。まだ何も決まっていない。そういうふわっとしたことだけ聞かされて、そして、一刻も早く、一刻も早くとか、さっきから、あっちへ行ったり、こっちへ行ったりしている。

○回答（教育長）

ふわっとしているということですが、今、色々なことを詰めており、基本設計へ向けて動いています。その設計内容によってどのようなことがおきるか、検討する内容もあります。今ここで、こうだ、とはっきり言える状態ではありませんが、何一つ決まっていないという訳ではなく、順次進んでいるところです。何も決まっていないということではないので、ご理解いただきたいと思います。

●質問

そもそも、この方針はどうやって決まったのでしょうか。前は、有識者会議を開いて決めていると思いますが、6月でしたか、いきなりポンと出て来たような気がします。

○回答（町長）

6月の議会で実施したいと申し上げましたが、その前の令和2年3月の議会で、ここ2年間の出生数を見たと判断をさせていただきたいと申し上げています。その数が把握できたということで、突然という感覚をお持ちかもしれませんが、議会であったりさまざまな場で、必要であることそのうえで学びの保障ということをお示ししてきたので、ご理解いただきたいと思います。

そして、色々決めてからしなければならぬというお話ですけれども、例えば建物であれば、基本設計をしたうえで進めていかなければなりませんし、そういったことをする前に、皆さんにこういう方針であると、大変大まかな内容ではありますが、ご説明しなければと思っています。

また、こういう機会にいただいた、ご意見、ご要望に出来るだけ沿った形で統廃合を進めていきたいと思っていますので、よろしくお願ひします。

●質問

出生率が下がっていることは、前もって分かっていた事実で、第一小学校の修繕費であったり、宝達小学校の冷暖房を完備したりして、多くの税金を使っていると思います。修繕する前に統合に向けてもっと早く動き出せたとと思いますがどうですか。無駄な税金ではないのか説明して欲しい。

○回答（町長）

色々な考えをお持ちの方がいる中で、我々としては、できるだけ円滑に進めていかなければなりません。早くして、もっと待て、という意見もあり、出来るだけ多くの方にご理解いただいて進めていかなければ、その上で新しい学校においても、例えば、宝達の小学校は無くなってしまおうわけですが、そうであっても保護者の皆さんであったり、地域の皆さんに新しい学校についてご支援いただきたいと、そのためにも、じっくりと検討しながら、さまざまなことを進めてきたところです。

あと、エアコンについて、無駄ではないかというご指摘ですが、補助金を使ってやっていますし、補助金もゆくゆくは税金だと、必ずしもそうではないと思います。学校がある限りは、しっかりと良い環境を整えて、暑いときであれば、しっかり勉強ができるように冷房が効くような環境にしておかなければならないということでやってきています。大きなお金がかかることで、財源の無駄遣いがないように、これまでも進めて来たところなので、ご理解をお願いします。

●質問

準備委員会について、令和3年度からスケジュールが決まっていますが、誰が主催とか、どういった場で決めるとか、いつ開催するとか、そういった具体的なことは決まっているのですか。

○回答（学校教育課長補佐）

7月の、今の保護者説明会が終わったら、8月にPTAの役員の方に集まってもらって、準備委員会について協議したいと思っています。

●質問

役員は、町の役員ですか、それとも各学校の役員ですか。

○回答（学校教育課長補佐）

各学校のPTA会長、副会長、母親代表となります。

●質問

そこで詳しく、今後の流れは、決めるというか、教えてもらえるのですか。

○回答（学校教育課長補佐）

その中で、PTAの中で、相談しながら決めていきたいと思っています。

●質問

PTAが拒否したらどうするのですか。

○回答（学校教育課長補佐）

できるだけ出ていただけるように、ご理解をお願いしたいと考えています。

●質問

それでも拒否したら、委員会は進むのですか、進まないのですか。

○回答（教育長）

統廃合に向けて賛同できないから、拒否するというPTAがあったらどうするかということですが、その時に第一に考えていただきたいのは、子どもたちの将来についてです。ここは、大人が考えていかなければならないことで、子どもたちの学び、それから成長のこと、今、最善で何が出来るかといったことを共に話し合っていく、PTA、学校、教育委員会でいけたらと考えています。

●質問

今の発言だと、子どもの教育を人質に取るというふうに聞こえますが。

○回答（教育長）

そういったことではなく、皆さんと共に子どもたちの今現在における最善の策を共に考えていきましょう。人質ではありません。考えるのは私たち大人、子ども達をとりまく大人です。多様な考え方が当然あることは分かっています。100人いて100人が賛成ということは中々ない。そのために会合を持ち、その場で皆さんが納得できる、最大多数になるかもしれませんが、その中で少数意見とかはどうするのかという話しもあるとは思いますが、私たちが共に考えて行くのが責務だと思っています。

●質問

その中で、町の考え方をこのように一方的な形で押しつけるというのが方針ということでよろしいですね。

○回答（教育長）

町の考え方が一方的だということではなく、共に考えましょうということです。

●質問

ということは、統廃合ありきではないということでしょうか。

○回答（教育長）

統廃合については、数年前から2校にするという話が動いていたと思います。ただ、その時に、色々な考え方があったと聞いています。そのために数年かけて検討し、最終的に決断したと聞いています。

●質問

その数年間の検討の流れが、この中にはみえてこないのですが、どういう検討があったのですか。

○回答（教育長）

今説明しました、子どもの学びをまず大事にしようと。子どもたちにとってということ、今回重点的にみました。子どもたちの学びということで見直しをかけました。

●質問

その中で、1校への統合の検討もあったのですか。

○回答（教育長）

1校の良さもあり、2校の良さもあります。その中で2校の良さを選択しています。

●質問

2校の良さとはなんですか。

○回答（教育長）

先ほども申したように、お互いを認め合って切磋琢磨する環境のことで

●質問

それは1校でも成り立つのではないですか。

○回答（教育長）

いいえ。子どもたちにとって、もう1つの学校があるということが非常に大事です。石川県の各地区をまわってきましたが、1校だけではなく、もう1校ある場合、切磋琢磨、学校同士の交流が非常に有効だといわれています。

●質問

それは誰が言っているのですか。

○回答（教育長）

誰かという、私がとなるのかもしれませんが、その地区の方々、校長先生なり、地区の方と話した時に聞いた話になります。統計的に誰が何人という話しではありません。

●質問

子どもたちの学びが第一で、集団の方が良いというジャッジなのであれば、統合で4年もかける意味がちょっと。校章とかどうのよりも、先に1校で集めて走ってしまって、後で決めるということでも良いのではないですか。学びが第一になっていないのではないですか。

○回答（教育長）

その辺も検討し、できれば来年からでも入れたい。そういう考えはあります。ところが、その設備について、安全性を高めていって、長寿命化をしないと中々動けません。先ほどから、行ったり来たりという話しもあって、一刻も早くと言ったのも、最長で4年、色々な設計の仕方によって、改修の仕方によっては更に短くなることも視野に入れています。

ただ、私は専門家ではないので、設計の段階とかで色々なところを見たときに、おおよそ3年8ヶ月みておけば大丈夫だろうと、ただし、それが新しい工法とか、ここはさわる、ここはさわらないとか削っていった場合に早くなる可能性も秘めていることになります。それが、基本設計の段階でみえてくると思います。例えば、志雄小学校を一切さわらないとした時には来年からでも統廃合はできますが、そういう訳にいかない部分があるので、調べているところです。

●質問

先ほども話がありましたが、校名とか、校歌とか、校章とかそういったものはどうでもいいです。合併する代表の小学校の校歌とかそのまま使えばいいと思います。いらぬ所に時間を使わなくてもいいと思います。

○回答（町長）

そういう考えも、一つの考えかと思えます。もしかしたら、そんな風になるかもしれません。それも準備委員会の方でご検討いただきたいのですが、学校の名前とかは大事なものですし、歌もそうです。学校のシンボルになりますし、皆さんの記憶に残っていく大事なものですから、それをどうするかというのは、どうでもいいということではなく、皆さんにご検討いただいて、考えていかなければと考えていますので、よろしくお願いします。

●質問

制服はどうなるのですか。例えば、宝達小学校の制服を1年生になった子が買いました。合併しました。その後はどうなるのでしょうか。バラバラってことでしょうか。各学校の3校の制服のまま6年間過ごすのか、とか色々あると思いますが、そういうことは何も考えていないのですか。

○回答（学校教育課長補佐）

中学校統合の例から言うと、新しい制服、それから体操服に変更して、それを着用していました。小学校についても、中学校の例に沿った形で準備委員会の中で協議していきたいと思っています。

●質問

それは、保護者負担ですか、学校負担ですか、町負担ですか。そこも大事なところだと思うのですが。

○回答（学校教育課長補佐）

そこも含めて、準備委員会の中で、協議していきたいと思っております。

●質問

まだ、何も決まっていないということですか。

○回答（学校教育課長補佐）

今のところは、ご説明したとおりです。

●質問

最初に町長が、保育所の先生、小学校の先生に聞いたところ、賛否両論あったと言われていましたが、先生方は具体的にどういうことを言われていたのですか。

○回答（町長）

統廃合に慎重なご意見としては、学校は小さくても良い教育は行えていると、みんな仲良く頑張っているし、地域の支えもあって良い学校であるから、出来るだけ残していけばどうか。というご意見であったし、統合した方が良いというご意見の方は、大人数の方が良い教育が行えるのではないかと、残念だが一つの方が良いのではないかという考えでした。

●質問

出生数を見ると、すごく減っているということが良く分かりました。統廃合も仕方ない部分があるかと思うのですが、長期的なことをよく考え

て、無駄遣いがないようにして欲しいと、目先の問題をなんとかするというのではなく、この町の子どもたちがずっと通えるような、そういうことを長い目で考えて欲しいと思います。

統廃合は仕方ないと言いましたが、統廃合して良かったと全員が思えるようにして欲しいです。そのために先ほどから学びの保障とか、教育の質を高めるとか言われているが、統廃合をするのであれば、どういう所に力を入れていくのかということと、あと、改修の規模ですが、部分的な改修なのか、全面的な規模でやるのか教えてください。

○回答（教育長）

当然、統廃合して良かったということに繋がらないと、この統廃合に意味がありません。その2校において、地域の学習をより取り入れていく。宝達小学校では、例えばアサギマダラとか、くずの勉強とか、色々と地域学習をやっていますが、それをなくすのではなくて、それも取り込んで、3校でどのようなことが出来るかを見つけていく、新しい地域学習を取り入れていかなければならないと思っています。

各学校で、文科省が薦めていることは当然やっていかなければいけないことです。GIGA スクール構想とか、それは当たり前やって、その上でその地域のことをどこまで取り入れるか、それはこれから3校で、調整していかなければなりません。いずれにしても、良かったと思えるように、みんなで知恵を出しながらいければ良いと思っています。

改修の規模は、全体的なことを考えています。傷んでいるところは修繕していくということで4年ぐらいかかると、調査したりするのにかかるので、その部分をご理解いただきたいと思っています。

●質問

かほく市の外日角小学校とか、七塚小学校のような感じをイメージしていれば良いのでしょうか。

○回答（教育長）

その学校についても調べましたが、七塚小学校と外日角小学校とでは改修の進め方が違っていました。外日角小学校は騒音があって学習が難しかったと、七塚小学校は学習し易かったと担当からは聞いています。その辺についても基本設計で、音が出るものについては、夏期休業中、長期休業中に行うとか、そういうことを調整していかなければならないと思っていますところ です。

●質問

現在の相見小学校を全体的に改修するということになると思いますが、プレハブを建てて、半年か、1年か分かりませんが、子どもたちは引っ越しを

して学ぶという感じになるのですか。

○回答（教育長）

そういったことも検討しています。その時にどういった工事が必要になってくるか、相見小学校に統合する時に、どこに手を入れなくてはいけないかと、そういったことをプロの目で見えていただくということで進めているところです。

●意見

全体的に綺麗な校舎になると、皆様のご理解も得られやすいと個人的に思っています。

●質問

学級数ですが、平成25年度出生年度の子で、押水地区では38人います。1クラスになるのか、2クラスになるのか、文科省の方で、令和7年度には全学年35人学級という話が出ていると思いますがどうでしょうか。

○回答（教育長）

おっしゃるとおり、毎年、学年を上げながら35人学級の実現に向けて動いているところです。35人を1人でも超すと、2学級になりますので、先ほどあった38人のところは、2学級となります。

●質問

表1を見ると、令和7年度の押水地区を見ると、6年生2クラス、5年生1クラス、4年生1クラス、3年生1クラス、2年生2クラス、1年生2クラスということでよいでしょうか。

○回答（教育長）

そういうことになります。この後の人の出入りによって変わりますが、今のところ文科省はそういう予定で動いています。

●質問

統合した時、令和7年度は、35人学級と考えていけば良いでしょうか。

○回答（教育長）

今のところ、35人になると聞いています。

●質問

制服のことで、押水地区、志雄地区、宝達小学校以外はブレザーだと思いますが、いざ、換えるとなると一式換えるとか、そのままでもいいとか、保護

者からすると結構な負担になります。子どもが多く、上の子が中学校に上がると同時に下の子が1年生とかだとお金もかかるので、そのあたりをもう少し早めに検討して欲しいです。

校歌とかどうでも良いので、制服とか、お金に関することを先に考えて欲しいという考えでいます。そこら辺どうなのか教えて欲しいです。

○回答（学校教育課長補佐）

今、お話のあったことを、準備委員会の中で、それも含めて協議していきたいと思っています。

●質問

それは、その都度、その都度、保護者の意見は聞いてもらえるのですか。こういう説明会も開いてくれるでしょうか。

○回答（町長）

制服のことですが、準備委員会で検討いただくことについては、折りをみてというか、お聞きしなければならない時に、アンケートとか形は分かりませんが、お聞かせいただいたりとか、また、決まっていくことについては、皆さんにもしっかりお示ししていきたいと考えているところです。

そして、統廃合について、役場の方でもホームページを作って情報の発信であったり、皆さんから伺ったりとかそんなこともしていきたいと思っていますので、よろしくお願いします。

●質問

学校を残す、残さないの話で、自分の子どもも、無くなるのは悲しいと、思い出のある学校だから残して欲しいと、やはり子どもからもそういう意見が出ているので、大人だけの意見ではなくて、子どもからの意見も聞いた方が良いのではないかという思いがありますが、その辺はどうでしょうか。

○回答（町長）

そういったように、子どもたちの意見を取り入れていくということも、良いことかと思いますので、検討させていただきます。

●質問

子どもに対して、もう少し真剣に考えて欲しいという考えもあるのですが、大人だけの意見で進めて行っても駄目だと思います。子どもの通う学校なので、大人だけの意見で進めても駄目だと思うのです。卒業生もいる訳で、思い出のある場所だと思うのです。夫も通っていた小学校だから、残して欲しいという人も、保護者の中にもいると思う。なので、もう少し真剣に考えて欲しいという面もあります。

○回答（町長）

今のご意見のように、私も宝達小学校の卒業生ですし、思い入れというのは当然ある訳ですが、おっしゃられたことは、本当に大事なことだと思っています。色々な方が、それぞれに思いがあったり、ご意見をお持ちであるということは、しっかり考えなければならないし、何よりも子どもたちのために良いことかどうか、統廃合を進めて行くにあたっては、色々なことを検討して実施していかねばなりません、よく考えながらやっていかねばと思っています。

今いただいたご意見を、しっかりと受け止めて、踏まえてやっていきたいと思しますので、よろしくお願いします。

●質問

4ページの組織図を見ると、準備委員会が一番上に来ていますが、準備委員会が決裁権限があると考えて良いのでしょうか。例えば、教育長とか町長の意見と争いが出た場合は、準備委員会の決定が第一で、そっちを優先というイメージで良いのでしょうか。

○回答（町長）

準備委員会で、結論が出たことは、当然、尊重していかねばいけないと思います。私が個人的なことでバツということは、よっぽどの事がない限りいたしませんので、よろしくお願いします。

●質問

平成25年度に生まれた子が、6年生になった時に2クラスという話がありましたが、今の人数だと19人ずつに分かれることとなります。そうすると、宝達小学校から9人で、1年生から5年生まで学んできた子が、2クラスに分かれるとなった時に、学校も変わって、友達とも離れて、不安定なことになったら、親としても心配なので、そういう面も考慮していただいて、質の高い教育をしていただきたいと思います。そういう所も、子どもたちの心の面も十分考えていただいて、統合を進めるなら、していただきたいと思っています。

話を聞いていると、安定した学びの保障ということを話されているので、子どもたちが安定して学んでいけるように十分考えていただきたいと思えます。

○回答（学校教育課長）

統合当初に仲間がまだ馴染まない間、同じ小学校の出身者を分けずに同じクラスにしているという例は今までもありますので、その辺も十分検討していきたいと思えます。

●質問

人数を見ている限り、統合は仕方ないと思うのですが、うちの子は保育所の無くなる年だったので、すごく覚えていて、今度この話を聞いた時に、私たちのことは嫌いなのか？ということ子どもから聞きました。町長さんは私たちのことを嫌いなの？って。なので、できれば小学校に出向いていただいて、子どもたちに分かる言葉で説明していただけたら良いなと思いますのでよろしくお願いします。

○回答（町長）

当然、そのようなことは無いのですが、そのように思われてしまっていることについては、今おっしゃったような、何らかの説明なり、フォローなりについて考えてみたいと思っております。お帰りになったら、そんなことは無いと言っていたとお伝えいただきたい。

●質問

私から言っても、

○回答（町長）

言っていたと、とりあえずお伝えください。

○回答（教育長）

統廃合の話で、宝達小学校の子どもたちが、他の集団が大きいということで不安があるということは当然のことです。統廃合に向けて学校間交流を準備段階として取り入れて、子どもたちの交流は進めて行きます。明日から突然3校集まるといったことではありません。その前に出来るだけ交流をすると、今はオンライン学習をやっていて、そういったことでも交流できますし、それと実際にふれ合う、そういったことを取り入れて、4年後に速やかに、安心していけるようにしていきたいと思っています。当然心の問題が統廃合の学校では一番大事にしていかななくてはいけないことで、生徒指導には一番気を遣うところです。そういった面で出来るだけ交流を増やしていくということを考えています。

●意見

廃校舎の跡地の活用ですが、3ページに健康でたくましい体力の保持増進とあります。近くに学校が無いと、子どもたちは外に出て遊ばないのではないかと思います。近くにみんなで遊べるようなところが、学校は遠くて自分たちの足では行けないので、自分たちの足で行ける今まであった校舎の所に、みんなで遊べるそんな所があったらいいなと思いますので、一意見として、聞いていただければと思います。

○回答（町長）

大切な考えであると思いますので、ご意見として、踏まえさせていただきたいと思います。

質疑応答終了

会議録（相見小学校質疑）

会 議 名	小学校統合説明会
日 時	令和3年7月20日（火） 午後7時30分～午後8時10分
会 場	相見小学校ランチルーム
出 席 者	町 長：寶達町長、細江教育長、笠松学校教育課長、秋田課長補佐、 中橋主幹、小笠原主事 保護者：34人
次 第	<ul style="list-style-type: none"> ・ 開会 ・ 町長挨拶 ・ 統合に関する説明 ・ 質疑 ・ 教育長挨拶 ・ 閉会
質 疑	<p>○志雄小学校での質疑を紹介（学校教育課）</p> <p>質問：スケジュールが具体的に決まっていますか。</p> <p>回答：4ページのスケジュールは、あくまで中学校のものを基に組んだものです。中学校にだけ必要な部分、小学校にだけ必要な部分があると思われるので今後精査が必要で、ある程度の余裕を持ったスケジュールとなっています。</p> <p>質問：制服はいつ買えばよいのですか。統合した時の在校生は新しい制服を買うのか、それとも既存の制服を使うのか。</p> <p>回答：在校生は既存の制服を使い、新1年生から新しい制服を使うこととなります。</p> <p>質問：廃校になる学校の跡地の活用計画はあるのですか。</p> <p>回答：検討中であり、具体的には、今後、皆さまで一緒に考えていきたい。廃校になる学校は、地域でも大事にされて来た学校なので、出来れば残してということを考えているが、古い学校もあり、使えないということもあるかもしれません。避難所としての機能もあるので、何らかの形で残せないかと考えています。</p> <p>●質問</p> <p>校舎の改修予定個所について、現在決まっているところがありますか。予定だけで、改修が無いこともあるのですか。</p> <p>○回答（学校教育課長）</p>

工事内容は、今後、基本設計の中で具体的に詰めていきたいと考えています。

●質問

令和6年度に工事期間があるが、相見小学校に通っている児童が勉強している横で工事をするのですか。

○回答（学校教育課長）

工事中の子どもたちの学習について、騒音等も考えられるので、学びを第一に、支障がないように進めていきたいと考えています。

●質問

開校時には35人で1クラスになるのですか。

○回答（学校教育課長）

令和7年度だと、全学年が35人で1学級となります。36人からは2学級となります。

●質問

先生の数は減るのですか。

○回答（学校教育課長）

はっきりとした数は言えませんが、今現在の押水地区の3校の合計の数からみると減ります。ただ、減るだけではなく、児童数が増えるので、加配といって、正規の先生を追加配属できるので、子どもたちの学びの保障を考えた教員の配置は可能です。

●質問

スクールバスは、宝達小と第一小に限られるのですか。

○回答（学校教育課長）

宝達小と第一小はバスになると思いますが、今後、準備委員会でコース等を含めて具体的に詰めていきたいと考えています。

○（町長）

ご要望ありますか。

●意見

宿から車で送迎しています。不審者に会っていても気付かないのではと心配しています。

○（町長）
分かりました。

○（町長）
ご意見について、今後、ホームページに統廃合コーナーを作って、受け付けしていきたいと考えています。

質疑応答終了

会議録（樋川小学校質疑）

会 議 名	小学校統合説明会
日 時	令和3年7月28日（水） 午後7時30分 ～ 午後8時15分
会 場	樋川小学校ランチルーム
出 席 者	町 長：寶達町長、細江教育長、笠松学校教育課長、秋田課長補佐、 中橋主幹、小笠原主事 保護者：26人
次 第	<ul style="list-style-type: none"> ・ 開会 ・ 町長挨拶 ・ 統合に関する説明 ・ 質疑 ・ 教育長挨拶 ・ 閉会
質 疑	<p>●質問 令和7年度の小学校の合計人数は分かったのですが、その時の宝達中学校の各学年の人数は何人なのでしょう。</p> <p>○回答（学校教育課長） 令和7年度は、中学校全体では227人です。</p> <p>●質問 1学年100人程度なら3クラスはあると思いますが、6年生が上に上がって、38人と35人と73人になるので、2クラスになるのでしょうか。</p> <p>○回答（学校教育課長） 35人学級になりますので、70人と2クラスですが、70人を超えると3クラスになります。</p> <p>●質問 7年度の4年生は57人になっていますが、この学年だと2クラスになるということですか。</p> <p>○回答（学校教育課長） 57人と2クラスになります。</p> <p>●質問 その後も、44人とか46人とかだんだん減っていくのが目に見えていま</p>

す。であれば、小学校合併ではなく、小中学校を合併したら良いのではないのでしょうか。

○回答（教育長）

小学校を1校にということでしょうか。

●質問

違います。目に見えて減って行って、44人とかになるのが分かっているのなら、令和10年度とかを目標にして小中学校を合併してということを考えれば良いのではないのでしょうか。わざわざ、小学校を2つ、中学校を1つ残す意味があるのでしょうか。

○回答（教育長）

小中一貫校のようなことでしょうか。

●質問

そうです。

○回答（教育長）

小中一貫校、今は、義務教育学校という制度が出来ております。そういった案も考えました。1校案、2校案、3校案、そうした時に、中々統廃合が進まない状況があります。宝達中学校の横に義務教育学校を作ると、校長が1人で小学校も中学校も繋がってという制度があるのですが、向こう側へ小学校を全部持って行くとすると、中々決まらない要素があります。そうやって、賛成してくれる人が多数いれば良いのですけれども、何で向こうにとなつて、場所の選定に非常に時間がかかってしまいます。宝達小学校ではこれからどんどん複式になり、予定ですが、来年には2名の先生が引き上げです。そういった少人数の学校の統廃合をさらに延ばすことになってきます。

ですから、私どもが考えたのは、まずは出来るところからやっけていこうと、同じ地区にいて、学びの保障が不公平にならないように、まずはしていきたいと考えて、この2校案を出しています。

●質問

宝達小学校を先に、押水第一と相見に分けるという考えはないのでしょうか。

○回答（教育長）

そういった案もありましたが、それぞれの地域の方々と話し合った結果、これが最善であると。色々な考えがあります。今のところ私どもは2校案で考えています。1校案、2校案、3校案、小中一貫校、義務教育学校、それ

から、特例校、特認校、校区を外すとか、色々なものを検討した結果、それぞれの地区で一番、子どもたちに学びの保障が出来るやすい方法を選んでいきます。

○回答（町長）

数だけで見ると、1つにしてしまえばという考えも自然な考えかなと思いますが、教育長からもありましたが、やはり、それぞれの学校で色々な思いがあります。そういった中で進めて行かなければという時に、他の会場でも、手っ取り早くといった表現がありましたが、そういうことは中々難しいことだと思います。冒頭の挨拶でも申し上げましたが、やり方が遅いという思いもあるかもしれませんが、出来るだけ多くの皆さんにご理解ご協力をいただいて、新しく良い学校を作っていきたいと思っていますので、早急にぱつとやってしまうのは難しいことだと思っています。

○回答（教育長）

ご意見があれば、町のHPにご意見をお寄せいただくと、こちらへ届くようになっていきますし、そういったことが難しい場合には、学校へお話ししたり、手紙を書いたりとか連絡していただければと思います。そのご意見を基にこれからのことを検討していきたいと思っていますので、よろしく願います。

●質問

統合した後の学校の跡は、志雄中学校は病院になったのですが、この小学校に関しては跡地は考えているのでしょうか。

○回答（町長）

今のところ、具体的な案というところまではいっていませんが、例えば、防災の機能であったりとかのためには、体育館は必要なかと思います。

ここに限らず、無くなる3つの学校を含めての話になりますが、それぞれの学校に皆さん愛着もあって、建物にも愛着があると思いますので、できる限り使っていくことを考えていかなければならないと考えています。地域のシンボルとして、また、学校であったという事を踏まえて考えていきたいと思っています。

ただ、建物が古いので、使えるのかどうか、ということも検討しなければいけないので、どんな風に使えるかアイデアを出すことと、実際に使用していくことが可能かどうかをよく考えて、また皆さんのご意見を伺い、丁寧にご説明する。そんなことで進めて行きたいと考えています。

質疑応答終了

会議録（志雄小学校質疑）

会 議 名	小学校統合説明会
日 時	令和3年7月19日（月） 午後7時30分 ～ 午後8時15分
会 場	志雄小学校ランチルーム
出 席 者	町 長： 實達町長、細江教育長、笠松学校教育課長、秋田課長補佐、 中橋主幹、木下主事 保護者：23人
次 第	<ul style="list-style-type: none"> ・ 開会 ・ 町長挨拶 ・ 統合に関する説明 ・ 質疑 ・ 教育長挨拶 ・ 閉会
質 疑	<p>●質問 スケジュール案について、期間はどのくらいかかるものなのか、それとも、かなりゆっくりにめのものなのですか。</p> <p>○回答（学校教育課長） 中学校統合時のものを参考に、余裕を持ってスケジュールを組んであります。</p> <p>●質問 余裕を持ってということは、中学校統合よりも長い時間をかけて統合するということですか。</p> <p>○回答（学校教育課長） 中学校と同じような期間でスケジュールを組んであります。</p> <p>●質問 工事の内容とか、具体的に決まっていることはありますか。</p> <p>○回答（学校教育課長） 具体的なことは、今後、基本設計を作ってからになります。</p> <p>●質問 教育に関して、学び合える環境という話がありましたが、教育に関しても具体的なこともこれからですか。</p>

○回答（教育長）

協働的な学習のために、子どもたちがグループ学習等を取り入れて、自分の意見を交わしていく、その集団をさらに大きくしていくということを、今現在も行っていきます。ただ、先ほどもお話ししましたが、小集団すぎる学校が生じてきており、2、3人で話し合うことは出来ていますが、もっと大きな集団で、多様な考えを認め合う中で、協働的な学習をしていくことが大切です。この町に生まれたからそういう学習を行う機会が少なくなる。そういうことがないようにしていきたいと考えています。

●質問

集団というのは、同じ学年だけではなくて、違う学年とか、時には社会ともということですか。

○回答（教育長）

そうです。学校生活には横のつながりもあるし、縦のつながりもあるので、多様な仲間とともに学習する。そのようにしていきたいと考えています。

●質問

出生の表を見ると、町全体の人数が、平成30年度に対して令和2年度は20人ほど少なくなっています。例えば、統合して10年、15年経った時にも減っていくのではないのでしょうか。その時、同じような話が出て来るのなら、決定事項なのかもしれませんが、押水地区と志雄地区を一緒にしてしまっただけで、長い目を見たときに都合がいいとか、手っ取り早いとか、そういった話は、議会とかには出ていないのですか。

○回答（町長）

ご指摘のご意見は、議会でも出ています。

しかしながら、先ほど教育長が話したように、町内に1つの学校だと競争がなく、切磋琢磨する環境をこれからも残しておきたいということ、1つどこかに建てるのが効率的かもしれませんが、それよりも地域のことをよく知ることが大事だと思っています。先ほどの話にもありましたが学校以外のことについて学び、自分が生まれて育っている所がどんな所かということ子どもの時にしっかりと学んでいくことが、先々の地元への愛着を作っていくようなことや、視野を広げ、周りのことに気づくような、そんなことにつながっていかないかなと期待しています。

一方で、激しい減少が進んでいくことになれば、また改めて考えなければならぬこともありうると思っています。

●質問

廃校になる3つの学校が取り壊しになるとか、活用していくとか、そういうことは検討しているのですか。

○回答（町長）

できる限り有効に使っていければとは思っています。ただ、どの学校も古いということもあり、安全性も考え、また、避難所機能といったことも考慮しなければならぬと考えています。

●質問

具体的に決まっているのですか。

○回答（町長）

まだ、検討の段階なので、これから形になっていけば、皆さんにお示ししていきたいと考えています。

●質問

制服について、中学校の時は、統合の時に買い換えたのか、こういった形にするのですか。

○回答（学校教育課長補佐）

中学校の場合は、新1年生は新しい制服を購入し、その前の学年は、以前の制服をそのまま着用していました。

●質問

遠方の子はスクールバスになると思いますが、その経費は、現状と比べてどうなるのでしょうか。

○回答（学校教育課長補佐）

スクールバスについては、今後、準備委員会の専門部会で通学ルートを検討していきたいと考えています。費用については、現在よりも増えることとなります。

●質問

学校が1校減る分よりも増えてしまうのですか。

○回答（学校教育課長補佐）

今現在、押水地区は徒歩通学なので、統合するとその分の費用がかかります。

○回答（教育長）

統廃合した場合、スクールバスの経費はかかりますが、5校を維持することを考えると、費用的には多くなりません。

●質問

そういう積算もしたうえで、統合を決めたということによいでしょうか。

○回答（教育長）

はい。ただ、私としては、経費の面よりも、子どもの学びを優先にして統廃合をする。その時にどうしてもスクールバスの運用が必要であると。一番は子どもの学びという視点で、費用はその次に、できるだけ良い環境を作ってあげたいと思っています。

●質問

準備委員会に小学校PTAも含まれていますが、具体的にはどの担当になるのですか。

○回答（学校教育課長補佐）

例として、中学校の準備委員会だと、各学校からのPTA会長、副会長、母親代表と、教頭、校長がメンバーとして入っていました。小学校についても、中学校と同様に考えています。

○（教育長）

色々ご質問ありがとうございます。急に質問と言っても難しいこともあると思いますので、持ち帰って質問があれば、教育委員会へ電話やメールをいただきたい。回答できるものはすぐに回答したいと考えています。

質疑応答終了

小学校統合準備委員会の設置概要

1 目的

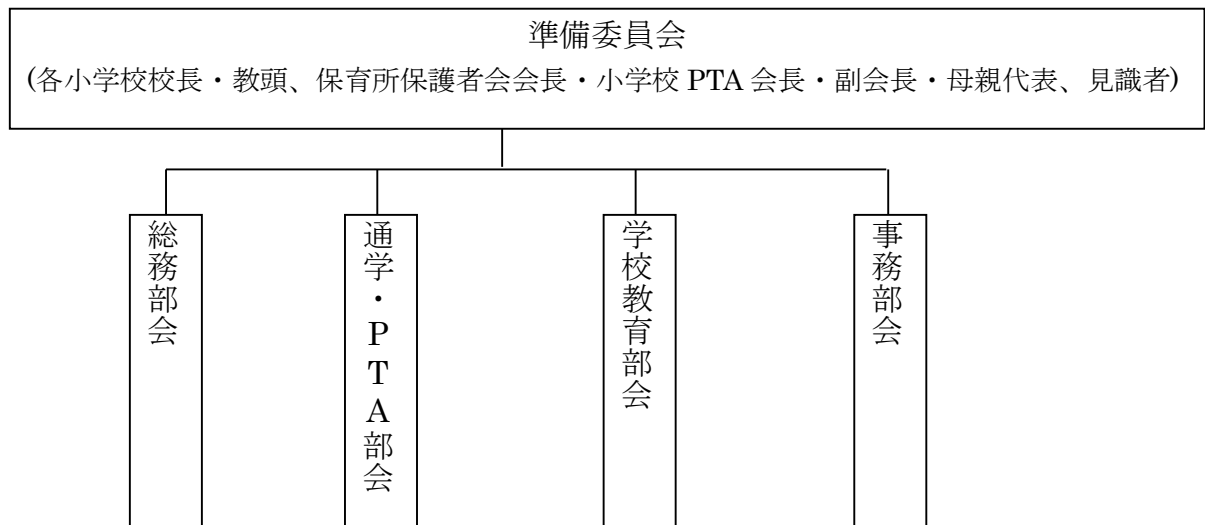
宝達志水町立小学校の統合について、所要の準備を行い、教育的課題の調査及び検討を行うと共に、統合小学校開校までに準備が必要な事項について協議し、円滑な移行を図ることを目的とする。

2 準備委員会は、次に掲げる統合学校区ごとにそれぞれ設置する。

- (1) 押水第一小学校・宝達小学校・相見小学校
- (2) 樋川小学校・志雄小学校

3 準備委員会で協議する事項

- (1) 統合小学校の名称、校章、校旗、校歌、校訓、制服等に関する事
- (2) 通学体制に関する事
- (3) PTA の組織運営に関する事
- (4) 教育課程、学校行事に関する事
- (5) 設備、備品に関する事
- (6) その他統合準備に関する事



4 準備委員会の組織（案）

	準備委員会	総務部会	通学・PTA 部会	学校教育部会	事務部会
見識者	委員長(兼)				
押水第一小 PTA 会長	○	○			
押水第一小 PTA 副会長	○		○		
押水第一小 PTA 母親代表	○	○			
宝達小 PTA 会長	○		○		
宝達小 PTA 副会長	○	○			
宝達小 PTA 母親代表	○		○		
相見小 PTA 会長	○	○			
相見小 PTA 副会長	○		○		
相見小 PTA 母親代表	○	○			
北大海第一保育所保護者会会長	○		○		
相見保育所保護者会会長	○	○			
押水第一小学校校長	○		部会長		
宝達小学校校長	○	部会長			
相見小学校校長	副委員長			部会長	部会長
押水第一小学校教頭	○		会議録		
宝達小学校教頭	○	会議録			
相見小学校教頭	○			会議録	会議録
見識者	委員長(兼)				
樋川小 PTA 会長	○	○			
樋川小 PTA 副会長	○		○		
樋川小 PTA 母親代表	○	○			
志雄小 PTA 会長	○		○		
志雄小 PTA 副会長	○	○			
志雄小 PTA 母親代表	○		○		
南部保育所保護者会会長	○	○			
中央保育所保護者会会長	○		○		
樋川小学校校長	○		部会長		部会長
志雄小学校校長	副委員長	部会長		部会長	
樋川小学校教頭	○		会議録		会議録
志雄小学校教頭	○	会議録		会議録	
各小学校教務主任				5	
各小学校生徒指導主事			5	5	
各小学校児童会担当				5	
各小学校事務職員		5			5
委員数	30人	19人	18人	19人	9人

